

議事概要記録

開催日時	平成 28 年 5 月 28 日 (土) 13 : 00 ~ 14 : 30	開催場所	済生会和歌山病院 7 階会議室
会議種別	平成 28 年度 第 2 回理事会	議 長	竹中 正人
		書 記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、神藤 洋次、久保 光史、脇村 小津江、 石井 啓子、田原 靖子、 村田 正吾、勝山 浩樹、15名		
欠席者 <敬称略>	畑 忠良、瀧口 良重、	オブザーバー	山本 須美子、相根 弘史
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 2・3 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 災害対策委員会 (エ) 精度管理 (オ) データ標準化 (カ) 会誌編集 (キ) ホームページ (ク) 会報 (ケ) 月例行事予定表 7. 連盟 8. その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総会の確認 2. 会員から誌面配布 (ボランティアのお願い) 依頼 3. その他 		
決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・竹中副会長より開会宣言があった。 冒頭、玉置会長より挨拶があった。今回の理事会をもって会長職を含む和臨技役員を 退任するに当たり、和臨技のために尽力を注いだ役員に対してお礼の言葉とした開 会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告</p> <p>日臨技関連として、4 月 16 日の 熊本地震発生直後に災害対策委員会から調査発 令要請があったと報告があった。</p> <p>近畿支部関連として、6 月 18 日に新旧の支部幹事会があり、竹中副会長と出席</p>		

する予定であるとのことであった。

他団体関連として、5月21日に公益社団法人和歌山県病院協会の通常総会と特別講演ならびに懇親会へ出席したと報告があった。

第2回常務会報告

熊本へボランティア派遣について、済生会和歌山病院 大谷美樹技師、紀南病院 大前嘉良技師、和歌山県立医科大学附属病院 田淵圭佑技師、同附属病院 松下裕技師、新宮医療センター 内田吉央技師の5名を派遣すると報告した。

7月の日臨技検体採取講習会実務委員について、和臨技からは大石理事、木下理事、久保理事、相根理事、伊庭技師、三宅技師（和歌山労災病院）、佐藤技師、南方技師、堀端技師、林技師、和田技師、井本技師（和歌山県立医科大学附属病院）の12名を派遣すると報告した

メーカー協賛による研修会開催の申請があったが、認めない旨の決定をしたことを報告した。

第3回常務会報告

会員から、HIV-VCT ボランティア活動募集の配布と広報依頼があり、常務理事会においては問題ないと判断し、理事会審議事項として検討することを申し入れた。

日臨技より認知症領域における対応力向上のためのモデル事業の公募があった。2事業の募集であるが、和歌山では認知症関連に特化した事業活動は行っていないため、申し出ない旨決定したことを報告した。

日臨技標準化事業の一環として、日臨技精度管理調査にてC・D評価を受けた施設を対象とした精度管理に関する研修会の実施を日臨技から求められた。内容や講師の調整も含めて学術部長と精度管理委員長で調整すると報告した。

全国健康と検査展について、今年度の強化企画とした臨床検査技師を広く国民に紹介するための企画（臨床検査技師紹介コーナー）を実施するように求められたことをうけて、実施することで調整すると報告した。

検査説明・相談が出来る検査技師講習会を10月29-30日で行うことを決定したと報告した。

事務局報告

4月4日に病院協会より玉置会長へ第76回通常総会ならびに特別講演への出席要請があった。

4月13日に和臨技表彰（会長賞）として、表彰審査委員長より玉置会長へ答申があった。

4月22日に平成28年度・知事とメディカルスタッフ団体会長及び病院協会長との懇談会の開催案内があった。

4月25日に日臨技より、熊本地震ボランティア派遣要請があり、常務理事会報告の通り5名の会員を派遣した。

4月30日に和臨技オリエンテーションを開催した。

5月1日に日臨技検体採取講習会実務委員派遣について、常務理事会報告のとおり12名の会員派遣が決定した。

5月14-15日に平成28年度日臨技近畿支部医学検査学会（第56回）が行われた。

学術部報告

第19回合同研修会について、現在47名の参加者があると報告があった。

7月9-10日に行われる日臨技検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について、400席の設営準備が有るため実務委員4名が前日入りすると報告があった。ま

た、講師スケジュールが調整中であるため、プログラム順が前後変更される可能性が有るとのことであった。

和歌山県病院協会学術集会メディカルスタッフ団体シンポジウムに関するアンケートを実施するにあたり、事前会議が急遽6月1日に行われると報告があった。また、アンケートの内容についても意見が求められた。

経理部報告

総会議案書（別冊資料）のとおり、27年度決算報告について大石経理部長より報告があった。一部領収書の記載等に若干の不備があることが監事より指摘されたことをうけて、今後は該当部署に対して修正を求めたと報告があった。

各種委員会報告

公益事業活動

特になし

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

平成28年12月23日（祝）JAビルにて開催予定の災害イベントについて内容が決定したと報告があった。稲むらの火の館・崎山館長の講話と、災害時における応急処置として日赤和歌山医療センター・松島圭吾 救急看護認定看護師の講義および実習を予定しているとのことであった。

精度管理

平成28年度・臨床検査精度管理調査年間予定表（案）が示され、今後このスケジュールで進めていくと報告があった。

データ標準化

平成28年度日臨技標準化事業について、日臨技より日臨技精度管理調査C・D評価施設を対象とした研修会の実施について、学術部長と調整すると報告があった。

衛生検査所業務調査指導員についての進捗報告があった。

会誌編集

特になし

ホームページ

特になし

会報

66号が配布されたと報告があった。次号67号の発行は10月頃を予定しており、終了した事業報告や近畿支部学会報告などを掲載する予定とのことであった。また、新理事自己紹介の投稿依頼もあった。

検査室紹介も引き続き行って行くと報告があった。

月例行事予定表

行事予定表への企業広告申し込みが5月末で8社に留まっている。非常に運営

が厳しいため、配布方法の簡素化も含めて、今後の継続審議することとした。

連盟報告

5月28日をもって後援会募集を締め切るとのことであった。連盟和歌山支部は後援会員数2,000目標のなか1,457名と報告があった。

現在の活動として会員施設訪問を行っており、週明け6月1-3日に集中して訪問するとのことであった。

近畿ブロックでの決起大会が6月12日に尼崎で行う予定とのことであった。近畿支部管内からは技師400名の参加を目標としており、その他日衛協・臨薬協・卸連合を含め1,000名規模大会が目標であると報告があった。

宮島よしふみ後援会からメールアンケート調査の実施依頼があった。また、栄養士会・作業療法士会からも推薦状を頂いていると報告があった。

近畿誌支部学会では連盟ブースを設置したと報告があった。

今年度の全国連盟執行委員会は9月に行われる予定とのことであった。

平成28年度近畿支部医学検査学会（第56回）報告

近畿支部学会医学検査学会が無事に終了したと竹中学生会長より報告があった

来週に収支決算報告を含めた各部最終報告の実行委員会を予定しており、これをもって全ての事業を終了する予定とのことであった。

和歌山県医学検査学会について

今年度の和歌山県医学検査学会について、会場は成人病センター、会期は2月25(土)-26(日)を予定していると報告があった。

審議事項

総会について、事業報告と計画案ならびに会員からの質問について、各担当理事が壇上にて報告及び回答するように申し入れた。

会員からの HIV-VCT ボランティア活動募集の配布と広報依頼について理事会にて審議した結果、全会一致で承認した。

和歌山県病院薬剤師会と Bristol-Myers Squibb 共催勉強会へ、和臨技が後援を行いたい旨の申請が学術部血液研究班からあり、許可することを全会一致で承認した。

竹中副会長より閉会宣言があり、玉置会長はじめ退任される4名の役員に対して労いの言葉をかけた挨拶があった。

記録作成	平成28年6月14日	氏名	田中 規仁	提出	平成28年6月14日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可